

NO.213

令和6年6月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

GIKAI TIMES



特集

令和6年度予算を審査



令和6年度予算を審査



令和6年度予算

令和6年度の予算テーマは、「笑顔を増やし 未来へ進める」。3月の定例会では、久留米市が抱えている課題と照らし合わせながら、予算が適切に配分されているかなどを審査しました。8日間に渡って行われた予算委員会を、山田貴生委員長、田中功一副委員長が振り返りました。予算審査の様子をお伝えします。

市の予算案の印象は？

山田 予算の多くが、豪雨災害、コロナ・インフルエンザ等の対策に向けられる一方で、新しい一歩を踏み出すことにも目を配った提案でした。笑顔が増えることが想像できるような、前向きな予算編成であったと思います。

田中 防災・災害対策に力を入れていることには感謝しています。ただ、そこだけでなく、子どもや、教育、経済などの分野にも適切に予算を配分することも大事。限りある財源の中で、未来の久留米を作っていく予算。事業を取捨選択していないといけないと思います。



ではできないので、国や県とどういった連携をとっていくのか、周辺の市町村とどう付き合っていくのがカギでしょう。

久留米市が未来に進むために必要なことは？

山田 ひとつは多様性。「地域共生社会」を実現する上で絶対に必要なことです。人として、お互い一緒に生きていくには、配慮が必要ですね。

田中 多様性があるということは、ものの見方が増えるということ。「違う」ことを前提として、いろいろな視点を持って認め合っていくことが大事でしょう。

山田 もうひとつは、役所の中の部署間の連携ですね。お互いをうまく生かすと考えれば良いのでは。

田中 そこで大事なものは目的。目的を明確にして周りを見渡せば、一緒にやれる部署が見えてきます。

山田 デジタル化・ICT化も必要ですね。同時に、デジタルを活用するためのベースをしっかりとつくる必要がある。人的にも物的にも。

田中 「デジタル化は進めないといけないけど、個人情報には渡したくない」というのが今の市民感情。この矛盾を解消するためにベースとして何が必要なのか、考える必要がありますね。



田中副委員長

予算委員会の質疑をピックアップ



地域での移動手段の確保策

Q 公共交通の空白地帯など、移動に困難を感じている人は多い。その対策として、北野地域と城島地域では「よりみちバス※1」が運行されている。また、校区を単位に「コミュニティタクシー※2」事業が運営されているが、校区で取り組みに差があり、課題も多い。地域交通対策には、福祉や商工政策的な視点など、総合的な視野を持って取り組まなければ、市民のニーズに応えられない。市の生活支援交通の今後の展開をどのように考えているのか。

A 高齢化が進展する中、公共交通の利用が不便な地域での生活支援交通の重要性は、今後さらに高まっていくものと考えている。「よりみちバス」と「コミュニティタクシー」で、移動手段の支援を行っているが、利便性や公平性などの点でさまざまな課題があることは認識している。二つの制度を検証しながら、市議会に設置されている「生活支援交通・買物問題調査特別委員会」での議論も踏まえ、生活支援交通の必要な見直しを検討していきたい。

子どもたちの多様性への理解と配慮

Q 近年、様々なルーツを持つ児童生徒が増えており、例えば、宗教や思想上の理由により特定の食材を食べられない子どもたちがいる。そういった、子どもたちの多様性を理解し合うことは重要だ。学校の授業や職員研修で取り扱うべきだと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

A 子どもたちの多様性を尊重し、それぞれが持っている価値観を理解することは重要である。令和5年度の「こども基本法」の施行に伴い、「子どもにとっての最善の利益を優先する」「子どもの意見を尊重する」といったスタンスが、学校の基本となる。令和4年度には、その趣旨に関する専門家による研修を実施した。子どもの困りごとは、給食や体育など様々な場面で考えられることから、今後も、学校全体で研修を行うなど、総合的・理念的な理解を進めるとともに、個別具体的な事例の研修にも取り組んでいきたい。

パソコンの自由な活用を

Q 小中学校の全児童生徒にコンピュータ端末を配布して約3年経つ。大切に使わないといけないという意識からか、学校側が使い方に制限をかけているのではないかと。導入時は、授業だけでなく、自宅へ持ち帰り、常にコンピュータ端末を使って学習するようなイメージを持っていた。子どもたちがもっと自由に使える環境を作ってあげるべきではないか。

A 現在、教育ICTモデル校を中心に、子ども自らが必要なアプリを必要な場面に応じて選択するような、子ども主体の授業モデルの構築に取り組んでいる。さらに、Google社と連携した、ジュニアICTリーダープログラムを実施していくなど、今後も子ども自身がICTを主体的に活用する力の育成に取り組んでいきたいと考えている。コンピュータ端末を活用するにあたっては、児童生徒が情報セキュリティやモラル面で配慮すべき点等についての指導が必要である。その上で、児童生徒が端末を主体的に活用することは、とても重要であると認識している。

※1 よりみちバス・・・10人乗りの車両を用いて、決まったルートを決まった時間に走るコミュニティバス。北野・城島地域で運行しており、誰でも利用可能。

※2 コミュニティタクシー・・・公共交通の利用不便地において、移動に制約がある方に対する日常の移動手段確保のため、タクシーを活用した運賃補助を行う事業。本市では、校区コミュニティ組織が主体となって実施。



改選後初の予算委員会。議員の視点はどうでしたか？

山田 子どもの未来やデジタル化に関する質問が以前より増えたように感じます。多様な経験を生かした、独自目線の質問も多かったですね。

田中 実際に子育てしている世代が、当事者目線で質問していたのは良かった。少子化は避けて通れない問題だし、若い世代の方が子育て支援に対する関心は高いのでしょう。それぞれの世代で感じ方が違いますから、それを生かしたやり取りができると、議会もより充実すると感じました。

課題が多い中での予算編成。印象的なやり取りはありましたか？

山田 人口が減少していく中で、予算組みの難しさは、年々増えています。人口減少は、どの問題にもつながっている。特に上水道や下水道は、今後、経営が厳しくなっていく、という話もあります。

田中 抜本的に、もう少し大胆な考えを入れていかないと、なかなか結果につながりません。当然、市だけ

防災・減災対策などを重点施策とした
当初予算などを可決

主な審議事項

- 令和6年度一般会計予算
 - 重点施策（防災・減災対策、少子化・人口減少対策、地域社会経済の活性化、デジタル化・DXの推進）
- 令和5年度一般会計補正予算
 - 物価高騰の影響を受けている低所得世帯への支援、感染症の流行に伴い不足が見込まれる子ども医療費の増額（第11号）
 - 公園整備や児童生徒の学習環境の改善費用、農林水産業施設災害復旧事業費予算の減額など（第12号）



議案の議決結果と賛否の状況はP6へ➡

3月定例会の経過

会期 2月20日から3月26日の36日間

第1日

▼ 2月20日

- 会期の決定（36日間）
- 市長から令和6年度一般会計予算など60議案の提案説明
- 急を要する案件として、令和5年度一般会計補正予算（第11号）を総務・教育民生の2常任委員会に付託し、審査の上、可決

第2日～第6日

▼ 2月29日～3月6日

- 一般質問（P7～9へ）
- 議案の質疑
- 令和6年度一般会計予算など14議案を予算審査特別委員会へ付託
- 令和6年度予算関連議案以外の議案を各常任委員会へ付託

予算審査特別委員会

▼ 3月7日～18日

- 14議案を審査（P2,3へ）

常任委員会

▼ 3月19日・21日

- 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査（P5へ）

第7日

▼ 3月26日

- 予算審査特別委員長が令和6年度一般会計予算等の審査経過などを報告、全ての議案を可決
- 令和5年度一般会計補正予算（第13号）など2議案が追加提出され、市長から提案説明
- 追加議案を総務・教育民生の2常任委員会に付託し、議案を審査
- 追加議案を含む4常任委員会の議案審査結果を報告、全ての議案を可決
- 人事議案3件が追加提出され、市長から提案説明の後、全ての議案に同意
- 議会運営委員会から議案1件が提出され、提案説明の後、可決

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事で、議会が同意した案件です。

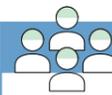
● 教育委員会委員
小田 まり子● 人権擁護委員候補者
笠 誠、牟田 幸宏● 固定資産評価審査委員会委員
有馬 良信

※ 敬称は全て省略しています。

pick UP!

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。



総務常任委員会

可決

久留米シティプラザ条例の一部を改正
（第31号議案）

久留米シティプラザの開館時間、六角堂広場や地下駐車場の使用時間、休館日を変更するため、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q 開館時間や駐車場の使用時間を短縮することは、メリットのみで課題は生まれないのか。
- A 開館時間を短縮しても施設を使用できる時間は変更しない*1ため、デメリットはないと考えている。駐車場も、利用者が少ない早朝・深夜の使用時間を短縮するので、大きな課題はないと考えている。メリットとしては、年間500万円ほどの維持管理費の削減が見込まれる。



経済常任委員会

可決

農林水産業施設災害復旧費予算を減額
（第3号議案）

令和5年7月の大雨で被災した農地や農業用施設について、国の災害復旧事業の査定が終わり復旧内容が確定しました。その結果、確保していた予算（69億700万円）から20億4,200万円を減額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q 災害復旧費予算の減額補正額が、かなり大きい。その要因は。
- A 災害復旧事業は、国の災害査定を受けてから復旧工事を行う制度であるため時間がかかる。早期の復旧を希望する被災農家は、査定を待たず、自費で復旧した方が多かったため、本事業の活用が少なかった（被災面積の9.5%。29ha）。また、予算計上時より施工単価が安くなったことも、補正額が多い理由。

*1 シティプラザ内の各施設の使用時間終了後、シティプラザ（館）全体の閉館時刻まで退出のための時間を設けていた。見直しにより、これをなくすもの。

*2 総合評価による競争入札・・・入札にあたり参加者に技術提案等を求め、価格以外に参加者の能力等を評価し、契約の相手方を決定する方法。

*3 インフレスライド条項・・・急激なインフレーション等、工期内に予期することのできない特別の事情が生じ、契約金額が著しく不適当となったとき、発注者又は受注者が請負代金額の変更を請求することができる措置。



教育民生常任委員会

可決

小・中学校のトイレの洋式化や空調機設置のための予算を増額（第3号議案）

国の補正予算を活用し、小・中学校施設長寿命化事業として、外壁やトイレ、照明（LED化）、グラウンドなどの改修を行うとともに、中学校の特別教室などに空調機を新設するものです。

審査の中で、こんな要望をしました

小・中学校のトイレ改修は、洋式化を求める声が市民から多く寄せられている。早急な改修をお願いしたい。



建設常任委員会

可決

次期上津クリーンセンター施設整備・運営に係る工事契約を締結（第25号議案）

令和10年中の稼働開始を予定している次期上津クリーンセンター建設のため、総合評価による競争入札*2で事業者を選定したので、契約を行うため市議会の議決を求めるものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q 今後も資材価格の高騰や工期の遅れなどが心配される。費用負担に対する考えは。
- A 入札の際に設定した予定価格は、最近の物価上昇を見込んだ上で計算した。国の通知なども参考に、実際の物価の動向に応じて、市のインフレスライド条項*3の適用など、必要な対応を考えていく。



次期上津クリーンセンターのイメージ

議案の議決結果

✓ 全員賛成で可決・同意した議案

令和6年2月20日議決分

第2号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第11号)

令和6年3月26日議決分

- 第1号 久留米市新型コロナウイルス感染症対策利子補給金等基金条例の一部を改正する条例
- 第3号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第12号)
- 第4号 令和5年度久留米市競輪事業特別会計補正予算(第3号)
- 第5号 令和5年度久留米市水道事業会計補正予算(第4号)
- 第6号 令和5年度久留米市下水道事業会計補正予算(第4号)
- 第9号 令和6年度久留米市競輪事業特別会計予算
- 第10号 令和6年度久留米市卸売市場事業特別会計予算
- 第11号 令和6年度久留米市市営駐車場事業特別会計予算
- 第13号 令和6年度久留米市農業集落排水事業特別会計予算
- 第14号 令和6年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計予算
- 第16号 令和6年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
- 第17号 令和6年度久留米市産業団地整備事業特別会計予算
- 第18号 令和6年度久留米市水道事業会計予算
- 第20号 包括外部監査契約の締結について
- 第21号 財産の無償譲渡について
- 第22号 令和5年7月大雨による道路上の土砂等の撤去費用に関する和解について
- 第23号 令和5年7月大雨による道路上の土砂等の撤去費用に関する和解について
- 第24号 久留米市都市公園の指定管理者の指定について
- 第25号 久留米市次期上津クリーンセンター施設整備及び運営事業に係る建設工事請負契約の締結について
- 第27号 久留米市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 第28号 久留米市生涯学習センター、久留米市男女平等推進センター、久留米市人権啓発センター及び久留米市消費生活センター複合施設条例の一部を改正する条例
- 第29号 久留米市男女平等を進める条例の一部を改正する条例
- 第30号 久留米市市税条例の一部を改正する条例
- 第31号 久留米シティプラザ条例の一部を改正する条例
- 第32号 久留米市有線放送条例を廃止する条例
- 第33号 久留米市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 第34号 久留米市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例
- 第35号 久留米市特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例
- 第36号 久留米市軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例
- 第37号 久留米市地域包括支援センターの職員等の基準に関する条例の一部を改正する条例
- 第38号 久留米市指定住宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例
- 第39号 久留米市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例

✓ 賛否が分かれた議案

議案名	会派名	久留米たすき	きずな	公明党	立志会	みらい久留米	緑水会	日本共産党	日本維新の会	議決結果
令和5年3月26日議決分										
第7号 令和6年度久留米市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第8号 令和6年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第12号 令和6年度久留米市介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第15号 令和6年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第19号 令和6年度久留米市下水道事業会計予算		※1	○	○	○	○	○	×	○	可決
第26号 久留米市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	×	○	可決

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、きずな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名:久留米たすき(久留米たすき議員団)、きずな(きずな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

※1...久留米たすき議員団は、賛成6人、反対1人

※みらい久留米 欠席者が1人いたため、表決に参加したのは3人

議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

久留米市議会 議案と結果

検索



ここが知りたい 一般質問 代表質問

【代表質問とは?】所属する会派を代表して行う質問です。久留米市議会では当初予算を審議する定例会で行っています。

※このページの脚注は、P9に掲載しています。



議会中継(録画)

久留米たすき

行財政



松岡 保治

Q 原口市政の2年間の総括と予想される大規模災害に加え、地域の諸課題へ対応するため、どう財政運営を行うのか

A この2年間「安全・安心のまち」「活力のあるまち」「生き生き生活できる、活躍できる共生のまち」の3つのまちづくりの視点で、市政運営に取り組み、形になってきている。大規模災害の的確な対応には備えが必要。そのためには、将来を見据えた重要課題や地域の諸課題に対応しつつ、なるべく基金に頼らない財政運営を実現し、不測の事態に備え、一定の基金を確保していく。今後は歳入確保の取り組みや事業の見直し、公共施設の最適化など行財政改革を進め、持続可能な財政構造・財政運営の実現に努める。必要な財源を確保し、災害への備えや地域の諸課題にしっかりと対応していく。

その他の質問...中央卸売市場の存続、保育政策の取り組みなど

公明党

行財政



塚本 弘道

Q 「久留米市地方創生総合戦略」^{※1}の取り組みのなかで、少子化対策の拡充や組織体制強化に対する見解は

A 少子化の進行は、人口構造の変化や人口減少を加速させ、地域経済の縮小や市民サービス供給力の低下などにつながる。将来的には、まちの存続にもかかわる大きな課題であり、中長期的な視点での対応が必要である。こうした認識の下、令和5年度から子ども医療費無償化の対象拡大などに取り組んでいる。今後の国の動向も踏まえ、子育てを多方面からサポートし、若い世代の仕事と生活の希望を応援していく。全庁横断的な組織として「久留米市まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、総合戦略を進めている。今後も関係部局間の情報共有や連携を強化し、総合的な施策の推進に努める。

その他の質問...災害時の備え、学校施設の老朽化対策など

きずな

商工業・農業



山田 貴生

Q 農業振興に関し、国の「みどりの食料システム戦略」^{※2}を市はどう捉え、取り組み、どのようなビジョンを描くのか

A この戦略の実現には、農業者だけではなく、消費者、事業者などの各主体が、環境に配慮した生産活動や消費行動を理解し、取り組みを進めることができるよう、国や県、他部局と連携を図る必要があると捉えている。市では、「有機農業の推進」について、有機農業の農業者との意見交換や推進に関する課題調査などを行った。その他、「化学肥料の使用量削減」や「CO₂の削減」にも取り組んでいる。全国有数の農産物の産地として、国による「食料・農業・農村基本法」の改正も踏まえ、将来にわたり持続可能な農業を実現していくためのビジョンを描かなければならないと考えている。

その他の質問...市長就任から2年の手応えや今後のビジョン、今後の自治会のあり方など

立志会

まちづくり・くらし



権藤 智喜

Q 「協働のまちづくり」の推進には、市民活動団体の活動の活性化が重要。その現状と課題、課題に対する今後の取り組みは

A 社会課題の解決に取り組む市内の市民活動団体は400近くあり、認知症予防や子どもの居場所づくりなど、活動の幅も広がってきている。課題は、活動資金の確保や担い手不足など。持続的に活動していくためには、こうした課題の解消が必要である。引き続き、補助金などの資金援助のほか、活動の啓発や団体情報の広報など、担い手の育成にも取り組む。さらに、令和6年度は資金確保や活動内容の周知をサポートするため、クラウドファンディングの仕組みづくりの予算を計上している。こうした取り組みにより、市民とともに協働によるまちづくりを一層進めていきたい。

その他の質問...令和6年度の市政運営、保育の質の向上など

／ ここが知りたい ／
一般質問
 個人質問

代表質問 続き

みらい久留米

教育・子ども



秋永 峰子

Q 「こども基本法^{※3}」における子どもの意見表明と参画を進めるには、仕組みづくりが必要と考えるが、今後の取り組みは

A 取り組みを進めていくためには、職員への意識づけが必要と考え、全職員へ「子どもの権利」に関する研修を令和5年度に実施した。国の調査研究によると、子どもの意見反映のプロセスでは「十分な情報提供」、「意見を言いやすい環境づくり」、「意見に対する結果のフィードバック」などが課題になる。実施に当たっては、国が示した手法や他の自治体の事例を参考にしていく。まずは、子ども子育て支援に関する計画である「くるめ子どもの笑顔プラン」の次期計画の策定の中で、困りごとを含めた子どもたちの意見を施策に反映させ、取り組みを進めていきたい。

その他の質問…困難な問題を抱える女性への基本計画の策定、学校教育における相談支援体制の強化など

緑水会

行財政



吉武 憲治

Q 西九州新幹線の佐賀空港経由での久留米新ルートの誘致は、市の将来の発展にプラスになると思うが、市の見解は

A 九州新幹線西九州ルートの新鳥栖から武雄温泉区間は、整備方針やルートなどについて合意に至っていない区間となっており、現在、国と佐賀県の間で協議が行われている。その協議の中で国からは、建設コストや時間短縮効果などの点から佐賀駅を通すルートが効果が最も高く、佐賀空港経由は現実的な選択肢になり得ないとの報告があったと聞いている。福岡県によると、久留米新ルートは国や佐賀県において検討の俎上に上がっておらず、制度上、大きな財政負担が発生する福岡県にも話はないとのこと。そうしたことから、現段階での可能性は低いと考えている。

その他の質問…教育長が考える校長の力、南西部地域への振興策など

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。3月定例会で行った質問の一部を紹介します。

公明党

まちづくり・くらし



田中 功一

Q 生活排水処理基本構想見直し^{※4}による、合併処理浄化槽の設置などの補助の考え方は

A 浄化槽の設置費用は下水道接続より負担が大きい。均衡を図るため、現行補助制度に市の上乗せを考えている。また、今後件数増が見込まれる浄化槽の更新費用は国庫補助対象外であり、補助確保のため、引き続き国へ要望していく。

その他の質問…罹災証明書交付の迅速化など

公明党

教育・子ども



生野 薫

Q コロナ禍前後でのブックスタート^{※5}の課題および参加率向上のための対策は

A 課題はコロナ以降、さらに参加率が低下したこと。参加率向上のため、保健師などの新生児訪問の際の案内などに取り組んでいる。今後、参加証を再送付し、受け取り期間を延ばすなどの検討を行う。

その他の質問…誰もが投票しやすい環境づくりについてなど

きずな

教育・子ども



堀田 洸太郎

Q 災害時の避難所にも使用される小中学校のトイレの洋式化をさらに進める考えは

A 令和5年9月現在の洋式化率は71.5%だが、家庭では洋式化が進んでおり学校現場でもニーズは高い。また、小中学校は災害時の避難所としても使用されるため、今後も誰もが使いやすいトイレを整備していく。

その他の質問…令和5年7月豪雨による市南西部地域の被害状況と今後の対策など

立志会

教育・子ども



永田 一伸

Q 部活動や質問教室等の時間外となる業務に対し、働き方改革を進めるための取り組みは

A 教員支援の取り組みとして、部活動指導員や学習指導員等を配置してきた。次年度は、事務の軽減に繋がる新システムを導入予定。今後も保護者・地域の理解・協力のもと、学校と連携して働き方改革に取り組んでいく。

その他の質問…生活排水処理基本構想の見直し

きずな

防災・安全



田住 和也

Q 全校区で自主防災活動を積極的に実施できるような支援など、対応を強化すべきでは

A 地域によって活動状況に差があり、地域の実情や課題を踏まえ、対策を検討し、活性化のための環境づくりに努める。また、地域と連携し、担い手の養成と活動の場を創出し、支援していきたい。

その他の質問…小・中学校における不登校についてなど

久留米たすき

防災・安全



そうだ 耕一郎

Q 予防型の空き家対策として、固定資産税の通知に「住まいの終活ノート」を同封しては

A ノートは所有者の住まいや気持ちの整理を促すなどの取り組みと認識している。現在「空き家のチラシ」を同封し、空き家化予防など啓発に取り組んでいる。今後も当事者意識を持っていただけるよう、内容充実に努めたい。

その他の質問…久留米競輪の新規顧客獲得のための広報および宣伝など

日本共産党

健康・福祉



金子 むつみ

Q 令和6年度介護報酬改定に伴う訪問介護の基本報酬引き下げへの対応は

A 事業者へ改定のポイントを周知し、処遇改善加算^{※6}の取得等の助言を行っていく。また、市内介護事業所の運営状況を踏まえ、必要に応じて、市長会等を通じて国へ改善を求める要望等を行っていききたい。

その他の質問…市民の財産「共同ホール」の存続についてなど

立志会

健康・福祉



長野 哲

Q パンデミック条約、国際保健規則^{※7}の改正が採択された場合の市民への影響をどう考えるか

A 世界保健機関は、新型コロナウイルス感染症対応の教訓から、健康危機への備えとして、条約の作成と規則の改正を決定している。その詳細は不明で、影響の判断は困難である。今後、国の動きを注視したい。

その他の質問…我が国と郷土を愛する国民育成の中学校社会科での教育など

みらい久留米

行財政



石田 眞一郎

Q 市の事務簡素化のため、QRコードを利用したオンラインでの手続きの考えは

A 現在イベントの参加申込などオンライン手続きで行っている。一部でQRコードも利用しているが、全てのオンライン化には至っていない。市民の利便性向上のため、QRコードの活用などオンライン手続きの拡充に努めたい。

その他の質問…会計年度任用職員の勤勉手当の今後など

久留米たすき

文化・観光



大熊 博文

Q 令和5年7月豪雨で被災した田主丸複合文化施設そよ風ホールの今後の復旧は

A 1階の大部分が床上浸水し、復旧には多額の費用と期間を要する見込み。今後、専門の見地から検討を行い、復旧の方法やスケジュールなどを具体化し、できる限り速やかに取り組みを進めたい。

その他の質問…生活排水処理基本構想の見直しなど

※1 久留米市地方創生総合戦略

人口減少・超高齢社会に対応し、持続可能な地域社会を形成するため、目標や施策の基本的方向、具体的な施策などをまとめたもの

※2 みどりの食料システム戦略

環境に配慮し、食料・農林水産業の生産力を上げ、持続可能性を高めるため、令和3年5月に国が策定した食料生産の方針。

※3 こども基本法

こども施策の基本理念や基本事項を定めた包括的な法律。令和5年4月1日施行。

※4 生活排水処理基本構想見直し

令和15年度完了を目標とし、「公共下水道(下水道)」「農業集落排水」「合併処理浄化槽(浄化槽)」による生活排水処理を推進するため、平成20年に策定。人口減少に伴う収益減少や令和4年度以降、国交付金の大幅削減などにより、計画を見直し。「公共下水道」区域を縮小し「合併処理浄化槽」への変更などの見直しを行う。

※5 ブックスタート

生後4か月を過ぎた0歳児を対象に、初めての本との出合いをサポートするなど、子育てや読書の支援を目的に事業を実施。絵本が入ったブックスタートバックを手渡すとともに、絵本の読み聞かせなどを行っている。

※6 処遇改善加算

賃金体系や職場環境の改善を行い、それが要件を満たしている介護事業所に対し、支給される。事業所で働く介護職員の賃金改善を行うための加算。

※7 パンデミック条約、国際保健規則

パンデミック条約：新型コロナのような状況を念頭に、国際保健規則(IHR)を補完する形で、将来のパンデミックを予防し、国際的な協力の下、より迅速に対応できるように、WHOにおいて本件条約の策定が提案された。国際保健規則(IHR)：世界保健機関(WHO)憲章に基づき、疾病の国際的伝播を最大限防止することが目的。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。議会中継(録画)



常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。
今回は、1・2月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。その録画映像にリンクするQRコードを掲載しています。ぜひご視聴ください。

総務常任委員会

自治会活動の活性化支援

自治会活動の活性化に向けて、自治会を取り巻く状況や課題、今後の支援について、地域コミュニティ課から説明を受けました。

- Q** 役員の負担軽減や育成、自治会加入の意義などの観点から、自治会の在り方を抜本的に見直す時期に来ているのではないかと。
- A** 自治会の在り方は、今までどおりがいいのか、時代の流れに応じた新しい形に変わっていく必要があるのか、いろいろな可能性を探っていく必要がある。他の自治体の先進事例も参考にしながら、校区まちづくり連絡協議会と一緒に考えていきたい。

その他のテーマ▶ 久留米シティプラザの運営

経常任委員会

適正な下水道使用料の在り方

これまでの公共下水道事業の経営改善の取り組みや、今後の使用料改定率の検討、改定後の経営見直しなどについて、上下水道部から説明を受けました。

- Q** 使用料改定率を10%アップと想定しているが、それでも数年後には再度改定が必要になる。そのことを市民にきちんと伝えるべきでは。
- A** 使用料の改定に当たっては、根拠やそこに至った背景、数年後の再検証により料金が上がる可能性も含めて、市民への丁寧な説明が必要と考える。今後は、使用料改定の是非について、4年ごとに附属機関である上下水道事業運営審議会※2へ諮問するなど、検証を行っていきたい。

その他のテーマ▶ 森林整備

※1 不登校・・・児童生徒の長期欠席者(年間30日以上)のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくてもできない状況にある者。
※2 上下水道事業運営審議会・・・上下水道の事業の運営や経営に関すること、また、水道料金や下水道使用料の在り方などについて審議する附属機関。
※3 上階住替え・・・高階層に住む人が、病気などの理由で、生活に支障があると認められるなど一定の条件を満たした場合に、下の階層の空き部屋へ移ることができる。住み替え先は、原則として同じ建物内となる。

教育民生常任委員会

不登校対応方針(案)

不登校※1の当事者や経験者、専門家の意見を踏まえて策定した対応方針(案)について、学校教育課から説明を受けました。

- Q** 不登校対策は、教育委員会だけではなく、高校や保育所・幼稚園と連携する必要があるのではないかと。
- A** 不登校の中学生については進路への不安の声があるため、学校での進路説明に加え、多様な進路情報の説明会を実施する青少年育成課と連携した取り組みを図っていく。また、近年、不登校者の低年齢化の傾向があるため、保育所などとの連携も模索していきたい。

その他のテーマ▶ 地域子育て支援センター

建設常任委員会

市営住宅

市営住宅の現状や課題、今後の取り組みについて、市営住宅課から説明を受けました。

- Q** 低層階の部屋が空いているのに、入居募集や上階住替え※3ができない理由は。
- A** 低層階の部屋は、階段の上り下りが少ないため、新規の入居希望や、上階からの住替えの相談が多い。低層階の部屋が空いても入居できないのは、部屋の傷みが激しく、修繕費がかさむケースなど、予算の都合上、それ以外の部屋の修繕を優先し、一定の募集戸数の確保を図る場合などである。

その他のテーマ▶ 公園事業

TOPICS

4年間の議会活動を振り返り～議会基本条例を検証～

「久留米市議会基本条例」では議会の目的を、行政の監視や政策の立案を通して、住民福祉の向上を図ることなどと定義。議会や議員が、それに見合った活動ができているか、議会運営委員会にて検証するよう規定しています。

今回は、過去の検証よりも厳しい評価が目立ちました。議員や会派の、自らの議会活動への意識の高まりが表れたものです。また、今後取り組むべき課題も明らかになり、議会として何ができるのか、さらに市民と向き合う機会となりました。



基本条例検証



吉富巧議長(中央右)と田中貴子副議長(一番右)に、検証結果報告書を手渡す藤林詠子議会運営委員長(中央左)と中村博俊副委員長(一番左)

「議会災害対応マニュアル」を改訂

議会運営委員会では、令和2年4月に策定した「議会災害対応マニュアル」を見直し、「議会災害対応マニュアル・業務継続計画(BCP)」に改訂しました。頻発する豪雨災害や、感染症対策の経験を今後に生かそうとするものです。

マニュアルには、市内で大規模な災害が発生した時の議会・議員の役割と活動や、行動基準等を定めています。災害時にも、議事・議決機関としての機能を果たし、迅速かつ適切に意思を決定することで、市民ニーズへの対応を図っていきます。



災害対応マニュアル

委員会の行政視察報告

先進事例を久留米市の発展に生かすため、委員会の行政視察を行いました。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

委員会名	期間	視察先	視察の主な項目
総務常任委員会	1月15日～1月17日	愛知県 刈谷市	先進技術等を活用した持続可能な地域づくり
		静岡県 藤枝市	デジタル技術を活用した地方創生の取り組み
教育民生常任委員会	1月15日～1月17日	兵庫県 神戸市	こども・若者ケアラー支援
		大阪府 高槻市	高槻子ども未来館
		兵庫県 豊岡市	演劇を通じた文化芸術の振興
経常任委員会	1月9日～1月11日	愛知県 半田市	畜産の臭気対策
		大阪府 堺市	下水道管路施設の包括的民間委託 AIを活用したマンホールポンプの監視システム
建設常任委員会	11月6日～11月8日	栃木県 宇都宮市	脱炭素先行地域づくりの取り組み
		神奈川県 藤沢市	インクルーシブ公園
議会運営委員会(オンラインで実施)	7月18日～7月19日	兵庫県 西脇市 東京都 八王子市	議会運営、議会基本条例の検証など
議会広報委員会	1月15日～1月16日	大阪府 八尾市	議会広報の取り組み



視察報告

「議会報コンクール」で最優秀賞を受賞

「市議会だよりくるめ」が、中核市議会議長会「第19回議会報コンクール」で最優秀賞を受賞しました。受賞したのは「209号・改選特別号」。全議員の個性的なポーズと座右の銘を掲載しています。



市議会だより209号

改選特別号

学生さんと
久留米ばなし!

なぜなぜ 学生さん



浮羽工業高等学校(前列左から)
友田 七翔さん(電気科2年)
木原 晃汰さん
(環境デザイン科2年)
吉田 心咲さん(建築科3年)

議会広報委員会(後列左から)
堺 太一郎 委員
古賀 としかず 委員
吉武 憲治 委員

高校生と市議会議員がなぜなぜ久留米トーク

NGも付度もなしのトーク会。双方が、本音で語り合う久留米での生活。その一部をご紹介します。今回は、浮羽工業高校の皆さん。「住みたいまち」と「校則」をピックアップ。

高校生活はどうか?

- 学校全体が明るく、楽しい。友達と過ごす時間は充実している。

久留米に住み続けたい?

- 今は住み続けたい。住みやすい環境だと思っているので。
- 一度は都会に住んでみたい。久留米から飛び出して、いろんな経験や勉強をしたいんです。

議員からは 外に出たい気持ちはわかる。一度外に出ても「また戻ってきたい」と思えるまちをつくっていききたい。

校則が厳しいのが気になるって?

- 生徒会で話をして、学校に変更案を提出することもある。常識があれば、校則は無くても良いかも。
- 校則はあった方がいい。決まりごとがないと、みんなバラバラになってしまうから。

議員からは 目的や希望を持って、みんなが思っていることを話し合いながら、形にしているっていうのはすごく大事なことです。議会も同じ。

編集後記

この度、「市議会だよりくめ」が中核市議会議長会の「議会報コンクール」で『最優秀賞』を受賞しました。これからも、議会を身近に感じてもらえるように、より分かりやすく、工夫を凝らした、紙面づくりを心掛けます。

議会広報委員会

今号の表紙

祐誠高等学校 弓道部



祐誠高等学校は上津町にある私立高校です。女子弓道部は令和3・4・5年と3年連続でインターハイに出場している強豪。久留米市などで開催される今年のインターハイ※での全国制覇を目指して、日々稽古に励んでいます。笑顔いっぱいの弓道部のみなさん。
(※弓道は長崎会場)

次回定例会の案内

市議会の本会議は、誰でも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

ライブも録画も配信中

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

6月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
5/27	28	29	30	31	6/1	2
3	4	5 本会議 (提案説明)	6	7	8	9
10	11	12	13	14 本会議 (一般質問)	15	16
17	18 本会議 (一般質問)	19 常任委員会 (教育民生・建設)	20 常任委員会 (経済・総務)	21	22	23
24	25 本会議 (採決等)	26	27	28	29	30

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを讀んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3

TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。ご意見等はこちらからも投稿できます▶

